めざす子ども像 確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取組目標 「地域を守る人づくり」を目指し、学校・保護者・地域各種団体の連携をより一層促し、子どもたちの「人、事、物」の様々な体験の取組を充実する。

【今年度の取組紹介】

広報紙掲載の「校区安心安全マップ」を作成。

学校支援ボランティアの協力により、平城西中学校区学校園の教育環境は継続的に充実しています。また、地域、学校園、公共機関の協力を得て、こども園(保育園)から中学校の 11 年間を通し防災学習に取組み、「地域を支える子どもたち」を育んでいます。

今年度は中学生から地域の情報を集め「校区安心安全マップ」を地域と共働して作成しました。 生徒会メンバーと協議会コーディネーター・教員で編集会議を持ち、記事について話し合いました。



【今年度のまとめ】

学校支援ボランティア活動は関わる人々の継続的な努力により、定着しています。「防災」を共通のテーマにした防災体験学習プログラムはコロナ禍の影響を受けながらも、今年度も消防署、消防団の協力を得て継続できました。毎年開催の防災フェス事業のイベントは中止となりましたが、子どもたちとの共働で広報紙に校区安心安全マップを作成、掲載する機会を持つことができました。

4 校園長とコーディネーターの連絡調整は月1回の会議で図り、スムーズに運営でき、また課題についても率直に話し合うことができました。

【来年度に向けて】

- ① 地域の様々な世代に適応した広報活動を細やかに行い、ボランティアの募集に繋げます。
- ② コーディネーターの役割や作業分担を明確にし、活動能力を上げます。
- ③ 子どもたちが発するメッセージを引き出し、子どもたち各々の力が発揮できるステージを企画するために教員、生徒会、児童会と話す機会を持っていきます。

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける

心豊かなたくましい子

取組目標 防災体験学習やゲストティーチャー招聘などの事業を通し、地域の多くの方々との出会いやつながりをもつことによって、学校が地域の課題(防災)への取組の場となり、子どもたちの心や夢を育む豊かな学びの場となるようにする。

今年度の取組紹介

○平城西中校区安心・安全マップ作成 中学生から神功・右京地区の危険箇所の 情報を集め、生徒会メンバーと地域とが 協働して安心・安全マップを作成しました。 自分たちが暮らす町を見つめ直し、もっと





地域に愛着をもつきっかけとなりました。また、このマップは来年度、校区の右京小・神功小で地域学習に活用されることになっています。

○運動場草引き

2学期が始まったばかりの8月27日(木)に、地域のご協力を得ながら本校運動場の整備を行いました。平日で、また、コロナウイルス感染症と熱中症のダブル予防に注意しながらという過酷な状況にもかかわらず、地域より12名、生徒96名、教職員を含め総勢120名もの参加があり、みな熱心に活動していました。当日は作業に夢中になるあまり、誰も写真を撮っていませんでしたので残念ながら画像はありませんが、暑い中グラウンドをきれいにしていただき、スムーズに2学期が開始できました。

今年度のまとめ

本校区ではこれまで「防災フェス」を軸とした地域防災を柱として学校と地域とが一緒になり、子どもたちが地域の一員としての自覚をもてるような場を提供することを重点的に行ってきました。しかし、今年度は大人数が集まる行事は開催できませんでしたが、地域から代替案を提案いただき、地域の皆さんのお力と奈良市から提供された生徒用タブレットを駆使して、地域マップ作成という形で防災の取組を実行できました。子どもたちだけでなく新しく地域に移り住んでこられた方にも地域に関心をもっていただけるよう、今後もさまざまな地域マップをシリーズ化して作成していけるか検討しています。

来年度に向けて

完成したマップが小学生の学習に使われ、どんな展開となるのか楽しみです。中学生と小学生の学 びが交流できるような機会を設けたいです。 めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける 心豊かなたくましい子

取 組 目 標

地域への意識を高め、地域活動に積極的に参加する児童を育てる

今年度の取組紹介

○草引きウイーク(10月12日~16日)

保護者・地域の方・本校教職員など、5日間で90名ほどが右京小学校の運動場に集まってくだ

さいました。年々児童数が減少し、夏が過ぎると運動場が草 一面になります。今回も集まっていただいた方で草引きを中 心に清掃活動を行っていただきました。

おかげさまで運動場の草はなくなり、安全に安心して体育 等の学習に取り組むことができました。



○防災体験学習



北消防署の協力を得ながら、平城西中学校区として、各学年の発達段階に応じた系統的な学習を進めています。また、教職員についても校内研修として放水訓練を実施し防災意識を高めています。

毎年行うことによって、児童の防災や地域の一員であることの意識が高まり、地域で行われる防災訓練への参加にもつながっています。

今年度のまとめ

- ○新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、予定していた事業をすべて実施することができませんでしたが、事業によっては内容や方法を変更し実施したところ多くの地域ボランティアの方や保護者の協力を得ることができました。
- ○消防署の協力も得て、各学年で系統的に取り組んでいる防災学習や地域の防災訓練への児童の積極 的な参加等を通じて、防災や地域の一員であることの意識をより一層高めることができました。
- ○環境ボランティアさんの活動や図書ボランティアをはじめとする地域の方々の学習支援等は、学校 力を高める大きな一助となっています。

来年度に向けて

○今年度のテーマ・目標・事業を継承し、さらに地域・家庭・学校のつながりを深める取組を進め、 自分の住んでいる町の魅力についてより知ってもらいたいと考えています。

めざす子ども像 確かなつながりの中で、

自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取組目標地域と共に心を耕し、夢を育む神功の子~学びの場をともに豊かに!~

【今年度の取組紹介】

●クリーンタイム

本校は敷地が広く、例年5月から10月頃にかけて敷地内に雑草が生い茂ります。環境ボランティアの方々や用務員さんが定期的に草刈りをしていますが、少人数では刈り取った草を集めるのは困難です。そこで、コロナ禍となる今年度は、例年以上に分散した形でクリーンタイム(草集め)を実施しました。本校の低・中・高学年の児童、学校施設開放利用団体などが、それぞれ日時を分散して草集めを行うことで協働することができました。

●福祉体験(車いす体験)学習

2月5日(金)に、4年生の福祉体験学習を行いました。 神功地区社会福祉協議会と奈良市社会福祉協議会にご協力い ただき、9名のゲストティーチャーに教えていただきました。 今回は共用する器具の消毒を徹底するため、体験を車いすに 限定して行いました。





体育館からピロティ・職員室前の廊下を通って正面玄関までのルートを、 車いすに「乗る」「押す」を交代して往復する体験をしました。今回は新し いスロープができた中での体験でしたが、子どもたちは「小さな段差でも、 車いすでの移動では大きなものになる」ことを実感した様子でした。

【今年度のまとめ】

新型コロナ感染症の流行により活動の開始が遅れ、活動回数が少なくなりました。それによって、地域の方々やゲストティーチャーと子どもたちの関わりの中から生まれる「豊かな体験・学びの場」の尊さに、改めて気づかされました。また、コロナ禍ではありながらも、感染防止対策を徹底し実施方法を工夫することで実施を継続できることがわかりました。

今年度当初は分散登校から始まり、登下校の見守り機会が非常に多くなりました。その中で、例年よりも多くの地域の方々に子どもたちの登下校見守りのご協力をいただくことができました。

【来年度に向けて】

新型コロナ感染症が終息しない中ですが、来年度も感染防止対策を徹底し実施方法を十分に工夫 し、日々成長する子どもたちにとって「豊かな体験・学びの場」を途切れさせないよう、取組を継続 させていきたいと考えています。 めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける

心豊かなたくましい子

取組目標

地域の方とのつながりを感じながら、子ども達の遊びや生活 の刺激となるような事業の充実

【今年度の取組紹介】

秋の遠足

新型コロナウイルス感染が拡大するなか、今年の遠足は、園近隣に出かけることになりました。

5歳児は、地域にある神功小学校、右京小学校などをグループごと にスタンプラリー形式で周ることになり、保育者の他に地域の方に も各グループに付き添っていただきました。

子どもたちは、地域の方の名前を覚え、手をつないでもらったり話をしたりしてうれしそうにしていました。右京小学校や神功小学校では、1年生の授業の様子を少し見せていただき、広い小学校の運動場ではお弁当を食べました。

今年は、小学校の体験入学もなく、このような機会に地域を周りながら小学校の様子を見ることができ、就学への期待もより膨らみました。

また、参加してくださった地域の方がその後も園の環境整備に来てくださる機会があり、自分から「おはよう」と声をかけ、一緒に溝掃除をするなど、親しみを持って関わることができました。



【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染症が拡大するなかで、計画通りにいかないことも多くありましたが、園の行事の見直しをする中で、地域の方と関わる新たな活動を見出すことができました。また、環境整備事業では、地域の方に声をかけてもらったり、認めてもらったりすることができ、より意欲的に活動する子どもに育ってきています。

【来年度に向けて】

継続してきた取組の見直しを行いながら、園の現状に応じた保育内容を実施できるようにしていき たいと思います。また、ボランティアの方の参加が広がりつつあるため、活動内容をホームページ等 で知らせ、より多くの方への理解につなげたいと思います。 めざす子ども像 確かなつながりの中で、

自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取 組 目 標 地域の方との関りを通して、自然のおもしろさや美しさを感じたり、身近な人に 親しみ、「やりたい!やってみよう!」とする意欲を育んでいく。

【今年度の取組紹介】

☆おはなしの会

子どもたちに様々なおはなしの世界を楽しんでほしいと今年度は "右京おはなしの会"を7回開催しました。

コロナウイルス感染対策の為、例年よりも開催時間を短くして 消毒を行いながら歳児級ごとに会を進めました。

また、距離や間隔をあけての開催で、

素話時もマスクを着用していたので 声が通りにくくマイクを使用することで 声の強弱が伝わるように工夫して いただきました。



☆運動あそび

社会環境や生活様式の変化から現代の幼児は身体を動かして遊ぶ機会が減少しているということを踏まえ、今年度より体操講師による運動あそびを開始しました。サーキット遊びやのドッチボールなど楽しく体を動かす遊びを通して基礎的な体力や身体能力を発達させ、様々な活動への意欲につなげる機会となりました。



☆玉ねぎの苗植え

地域ボランティアの方に来ていただき、3、4、5歳児の園児と玉ねぎの苗植えを行いました。実際に玉ねぎの育ち方のお話を聞いたり、植え方の説明を聞いたりする中で地域の方々との 交流を深める機会となりました。

【今年度のまとめ】

今年度から民間移管を受けて初めて"地域で決める学校予算事業"に参加させていただきました。 地域の方との関りの中で、園の教育保育活動では経験できない体験や交流をさせていただくことが 出来ました。コロナ禍の為、制限されることが多々ありましたが、地域の方々が何かできることは ないかと模索し提案してくださったおかげで当初計画していた活動全ては行えませんでしたが、出 来る限りのことを楽しんで取り組むことが出来ました。地域の方々の温かいまなざしとご理解・ご 協力により実現できたことに深く感謝しております。

【来年度に向けて】

コロナ禍の為行えなかった菜園づくりや外遊び棚作り等を地域の方々と取り組みたいと思います。 そしてその場所が子どもたちと地域の方にとって集いの場となり、より一層交流が深められたらと 考えています。その他にも、子どもたちの心を豊かに育むために、保護者会や地域の方々と共に話 し合う中で子どもたちが楽しめるイベント等も開催し、より一層地域に根ざしたこども園にしてい きたい思います。